

学年・教科・担当者	3年・技術科・佐藤秀介
-----------	-------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	・コンピュータについて知る	・コンピュータの主な部品について学び自身が使用するコンピュータについて知る。
	5	・情報のセキュリティ技術について知る ・計測・制御について知る	・情報を扱うときに身につけておきたいセキュリティ技術を知る。 ・コンピュータでプログラムした機械がセンサを使用してどのように周囲の情報を処理しているのかを知る。
	6	・プログラミングして機器を操作する	・ソフトを使って機器を制御する方法を学び、自身が考えた通りに機器を動かすことができるようにする。
	7	・情報セキュリティと情報モラル	・SNS等の使用方法や著作権など技術にかかわる権利を学び、事件や事項等を回避できるようにする。
2	9	・双方向の通信方法について知る	・メールなど情報が自身と相手に行き来する技術の仕組みを学びアプリケーションが作れるようにする。
	10	・双方向の通信を行うアプリケーションを製作する	・ソフトを使いクラス内で双方向の通信が行えるアプリケーションを製作する技能を身に着ける。
	11	・信号機について調べる ・信号機を製作し制御する	・信号機のしくみやシステムについて調べ、信号機のしくみを理解する。 ・計測・制御と双方向の通信技術を利用し、信号機のシステムを製作する
	12	・レポートを製作し発表する。	・自身が製作したプログラムが作動しているかなど製作までの流れをまとめ振り返らせる。 ・完成した信号機システムとレポートを使って、他者に評価させる。
3	1	・ハンダ付けの方法を知る	ハンダ付けの方法を身につける
	2	・防水ライトの製作をする。	ハンダ付けの技能を利用し、防水ライトを製作する。
	3	・自動運転自動車について考える	・今まで学んだ知識を用いて、自動運転自動車の評価をし、正しく技術を評価できるか確認する。

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・プログラム製作技能 ・防水ライトの製作技能
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・期末考査 ・レポート ・製作したプログラム
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの提出 ・授業のまとめ ・レポート

・製作したプログラム

学年・教科・担当者	3年 技術・家庭 家庭分野	安井 知香
-----------	---------------	-------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	子どもの成長と環境	幼児の生活や発達の特徴・遊びの意義について知り、周囲の人や地域の役割について考える。 ○幼児の心と体の特徴について理解できる。 ○幼児の生活習慣の習得について理解できる。 ○子どもを育てる環境としての家族の役割を理解できる。 ○地域の保育園、幼稚園、児童館、子育て家庭支援センター、児童福祉法、子どもの権利条約などについて調べることができる。
	5 6	・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・幼児の生活習慣の習得 ・子どもにとっての家族 子どもの成長と地域	
	7	・幼児の生活と遊び	○幼児にとっての遊びの意義について理解できる。
2	9	幼児の生活に役立つ物の製作	○フェルトを使用し、工夫しながら、幼児の喜ぶ物（おもちゃ）を作ることができる。 幼児のおやつを作る ○幼児の栄養の特徴を理解し、おやつなど幼児の食生活について <u>考える</u> ことができる。
	10 11 12	・幼児のためのおもちゃ ・幼児のためのおやつ	
3	1	幼児とのかかわり	幼児とふれ合いながら、幼児の発達の特徴や、楽しく関わるための工夫を考える。 ○保育園などを訪問して、絵本の読み聞かせをしたり、自分達の製作したおもちゃで遊んだりする。 ○幼児とのかかわり体験を通してわかったことをまとめることができる。
	2	・幼児とのかかわり体験	
	3	家庭生活と地域 ・地域に暮らす高齢者 ・高齢者とのかかわり 持続可能な家庭生活 SDGs と家族 ・家庭を支える社会	○家庭生活と地域のつながりや、地域の多様な人々について知る。 ○地域にあるさまざまな家庭の支援施設やしくみを調べる。（聞き取り調査） 自分の将来を見通して、誰もが自分らしく尊重される社会の構築のために自分のできること考える。 ○SDGs とワークライフバランスの概要を理解し、「SDGs と家庭生活のかかわり」と「ワークライフバランス」についての取り組みを考える。

評価について	
評価の観点	評価の方法
知識・技能 生活と技術について理解し、それらに係る技能を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード
思考・判断・表現 生活の中から課題を設定し、解決策を構想することができる。 実践したことを評価・改善し、表現するなど課題を解決する力を身に付けている。	定期テスト、レポート、ワークシート、製作品、実習記録カード、授業中の活動・発言
主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組むことができる。 改善したりして、生活を工夫し創造して実践しようとしている。	ワークシート、レポート、授業中の態度、実習記録カード